



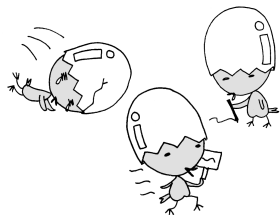
作って学ぶ
VISUAL BASIC .NET

瀬戸 遥

SETO, Haruka

<http://www.big.or.jp/~seto/>

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA006682/>



ASP.NET アプリケーションを 作成してみよう

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥TAMAHYOディレクトリに収録しています。

- ・ CODE.TXT
今回のサンプルのソースコード
- ・ 3DRAW_10.JPG
ImageButtonに表示する画像



今月のお題は “Webページ”

本連載では、これまでWindowsフォームを使ったアプリケーションを作成してきましたが、今回は、Visual Studio .NET 2003とIIS (Internet Information Services) を使ってASP.NETアプリケーションの作成にチャレンジしてみます。

「ASP.NETでWebページを作る」といっても心配ありません。いままで使ってきたVisual Basic .NETでコードを組むことができます。使用するWebコントロールもWindowsフォームのものと同じように動作します。もちろん、イベントを使ったインタラクティブな処理も可能です。また、HTMLコントロールやCSS (Cascading Style Sheets) を使うことで、自由にユーザー対話型Webページをデザインすることもできます。

今回は、はじめてのWebページ

作成ということで、簡単な(というかよく見かける)単位換算のページを作ってみます。



こんなページを 作りましょ

作成するWebページを図1に示します。ドロップダウンリストボックスで換算したい単位(ここでは4つ)を選び、数値を入力してボタンを押すと、換算結果をLabelコントロールで表示する、という単純なものです。

また、数値入力のテキストボックスが空白のままボタンが押されたときの処理として、WindowsフォームにはないWebページ独自のコントロールRequiredFieldValidatorとValidationSummaryを使ってエラー処理を組み込んでいます(図2)。

COLUMN

VS.NETとIISがなくても大丈夫！

「いきなりASP.NETでWebページを作るっていても、Visual Studio .NETもIISもないよ」と思われる方も多いと思います。でも、大丈夫ですよ。本誌2004年6月号の小冊子でも紹介しているように、Microsoftは「ASP .NET Web Matrix Project 日本語版」(以下Web Matrix)を提供しています。

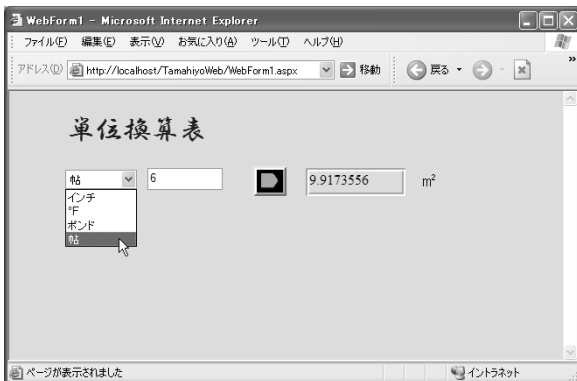
<http://www.microsoft.com/japan/msdn/asp.net/webmatrix/>

Web Matrixは、無償のWebアプリケーション開発ツールです。VB.NET、C#、J#を開発言語としてサポートし、

ASP.NET/HTMLページデザイナー、データベースマネージャなどを備えています。しかも、開発向けのローカルWebサーバーも含まれるので、今お使いのコンピュータにIISをインストールしていなくても、ASP.NETの開発と動作テストを行なうことができます。

今回作成する単位換算表のWebページは、Web Matrixでもほぼ同じような手順で作成できます。ただし、Web Matrixのコードエディタでは、インテリセンスと呼ばれる各種入力支援機能が使えないので、スペルミスやコードを間違えないで入力するように注意してください。

図1：今回作成するWebページ



Webページを作るのは簡単です

Visual Studio .NETでASP.NETによるWebページを作成するには、「新しいプロジェクト」から「ASP.NET Webアプリケーション」を選び、Webページの名前を付けて [OK] ボタンを押します (図3)。

Windowsアプリケーションでは、指定したドライブのフォルダにプロジェクトファイルが作成されましたが、WebページではWebサーバーのURL (IIS上の仮想フォルダ) にプロジェクトファイルが作成されることになります。

Webプロジェクトが作成されると、プロジェクトには

図2：使用するコントロール

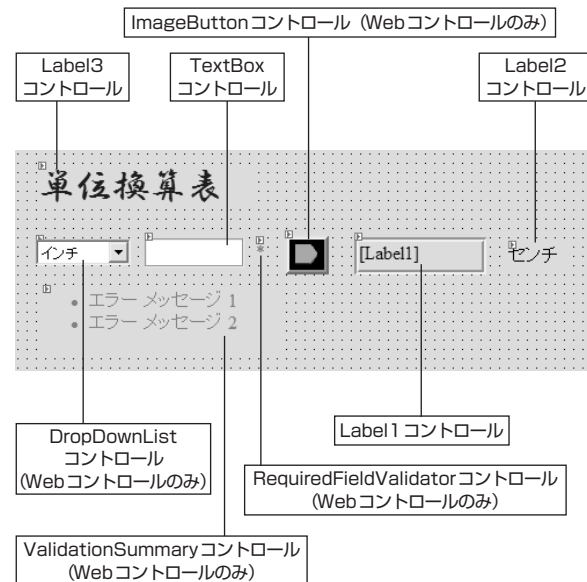


図3：Webプロジェクトの新規作成

